

『MCS 2012』の使用についての Q&A^{※1}

(ver.2012.03.23)

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

■ 購入された企業・団体・世帯内での集計結果の使用

Q1: MCS 2012から出力した集計結果を、社内の会議で上司を説得するために利用することは可能ですか？

A1: MCS 2012を導入された企業・団体・世帯内でのご利用が可能です。社内の会議での資料に、あるいは上司や他部署を説得するプレゼンのための材料に、ぜひご活用ください。

Q2: MCS 2012から出力した集計結果の、社内向けセミナーでの利用は可能ですか？

A2: Q1と同様に、ご活用いただけます。

■ 購入された企業・団体・世帯外での集計結果の使用

Q3: MCS 2012で出力した集計結果を、取引先への営業資料やプレゼンテーションに利用することは可能ですか？

A3: 補助的な利用(MCS 2012の情報を伝達することが主目的ではない場合)であれば、利用可能です。つまり、MCS 2012で集計したデータだけをずらっと並べて、その内容だけを伝えるようなかたちでの利用はできません。たとえば、取引先に提案したいある企画があり、その企画に説得材料を与えるためのデータとしてなら、MCS 2012の集計結果をご利用になれます。なお、その際にはクレジットの表記^{※2}が必要になります。

Q4: MCS 2012で出力した集計結果を、社外に向けたセミナーやコンサルティングに使用することは可能ですか？

A4: セミナーについては、Q3の場合と同様の扱いです。一方でコンサルティングについて、MCS 2012のデータを活用したコンサルティング等は、一般のお客様を対象としたこの利用契約では行えません。コンサルティング業、広告代理店業のお客様に対しては、一般のお客様とは別の利用規約、料金体系がございますので、アスキー総合研究所^{※3}に直接ご相談ください。

Q5: MCS 2012で出力した集計結果を、市販するレポートに掲載することは可能ですか？

A5: これも補助的な利用であれば可能ですが、アスキー総合研究所^{※3}に直接ご相談ください。

■ 宣伝、その他媒体を介した利用

Q6: 自社の宣伝にMCS 2012の集計結果を活用することは可能ですか？

A6: 会社案内の冊子や、会社を紹介するWebサイト等にMCS 2012の集計結果を利用することは可能です。ですが、テレビCMや新聞広告など、マスメディアを使用した宣伝活用で使用する場合は、雑誌記事やWebサイト等のコンテンツとして使用する場合は、アスキー総合研究所^{※3}に直接ご相談ください。

※1 このドキュメントは、今後追記・修正される場合があります。最新の内容は、必ずアスキー総合研究所のWebサイト(<http://research.ascii.jp/>)上に掲載している、「MCS 2012の使用についてのQ&A」(<http://research.ascii.jp/consumer/contentconsumer/QA.pdf>)をご確認ください。

※2 クレジットは、“アスキー総合研究所「MCS 2012」より”などと記載してください。

※3 お問い合わせ先:

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 担当: 泉、中西

メール = asciiresearch-info@ml.asciimw.jp

電話 = (03)5216-8125